

被災地で仮設住宅のコミュニティづくりを支援 「逆さケチャップ」の売上で“モジュール型の仮設集会所”を寄贈 宮城県東松島市宮戸島で、10月8日(土)15時より寄贈式を実施

ハインツ日本株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:ポール モリ)は、ハインツの代表的な商品であるケチャップの市販用商品「逆さケチャップ460g」の売上の1%を、2011年6月から3年間、東日本大震災の被災地支援に寄付することを決定しています。

このたび第1回目の寄付として、被災地で多目的に使える組み立て式のモジュール型建物、『ユニバーサルビルディング キューブ(UBC)』3棟を仮設集会所として、宮城県東松島市宮戸島の漁村の一つである月浜区に寄贈することを決定しました。

■仮設住宅のコミュニティづくりが重要課題

月浜区は東松島市奥松島の先端に位置する漁業と海苔養殖が盛んな地域でしたが、震災と津波で全住宅39戸のうち37戸が全壊、2戸が半壊という被害を受けました。また漁船や養殖設備のほとんどが失われ、壊滅的な被害を受けました。現在は仮設住宅に被災前人口の68%に当たる118人が入居していますが、これからのこの地域の復興には住民どうしのコミュニティづくりが最も重要な課題と考えられています。



今回、寄贈されるUBCのイメージ(CG画像)

■本格的な復興までのつなぎの支援を

UBCは、被災地で支援活動をおこなう山形県在住の山口ステーブ氏の発案により、同県に本社を置く株式会社 シェルターが無償で設計したモジュール型の建物です。移動可能な仮設物のため行政の本格的な復興計画が決まる前でも建築許可が不要で、複数をつなぎ合わせることで様々な用途に利用することができます。

被災地では多くの方々がようやく仮設住宅へ入居したものの、仕事と家財道具の全てを失い、雨露は防げるけれど未来が見えないという状況にあります。その中で、行政の復興計画をただ待つのではなく、自分たちで出来る事を始めたいという思いが強くなっています。UBCはこうした被災地の自発的な復興努力を支援するために発案されたもので、単体あるいは複数をつなぎ合わせることで、集会所、店舗、収納小屋など多目的に利用することができます。

今回、ハインツが寄贈するのはこのUBCの第一号で、3棟を連結して仮設集会所として利用される予定です。「時間帯によって、母と子の遊び場になったり、お年寄りのお茶のみ場となったり、漁師たちが未来計画を話し合ったりする場として使いたい」と計画しており、また食材を出し合っ、皆で温かい食事をとる場所として使うことも検討しています。

寄贈式は10月8日(土)の午後3時より、月浜区の仮設住宅に隣接するUBCの建設予定地にて予定しています。

ハインツ日本では、月浜区の近隣でもこうした受け入れ体制がととのった地域があれば、UBCの第2弾、第3弾の寄贈をしていく予定です。



■ハインツの支援活動について

「震災後3ヶ月の消費、社会貢献に関する意識調査(SoooooS.調べ 2011年6月実施 *1)」によると、今後、消費者が行っていききたいこととして、「寄付付き商品の購入」は49%と多く、「寄付・募金」の41%、「物品の寄付・寄贈」の17%、「ボランティア活動に参加」の16%などを上回っています。(「節電」は69%で最多)
ハインツ日本では逆さケチャップの売上の一部を、今後も現地のニーズに合った具体的な活動に寄付をすることにしており、その内容はリリースおよびホームページにおいて随時公開してまいります。

*1 「SoooooS.」(スース)

エコな商品や寄付つき商品、フェアトレード商品など、気軽な社会貢献・より良い社会づくりにつながるソーシャルプロダクト情報の検索・発信・共有が可能な日本最大級の専門情報サイト <http://soooooos.com/>

【寄贈式 概要】

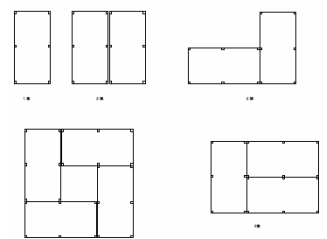
- 日時:** 2011年10月8日(土) 15時～17時
※ご取材に関しては次頁の問い合わせ先へご連絡願います。
- 場所:** 宮城県東松島市宮戸島月浜区(漁港)の仮設住宅に隣接する場所にて、UBCの建設および寄贈式を行います。
- 交通:** JR仙台駅より東北本線で30分の松島駅で下車
松島駅よりタクシーで25分
※月浜区に向かう一本道の道路が海岸につき当たる手前です。
- 寄贈内容:** ユニバーサルビルディングキューブ(UBC) 3棟を連結した仮設集会所
- 参加:** ハインツ日本(株) 代表取締役社長 ポール モリ
(株)トラベル東北 代表取締役 山口 スティーブ 氏
(株)シェルター 代表取締役 木村 一義 氏
宮城県東松島市 市議会議員 小野 幸男 氏
宮城県東松島市宮戸島月浜区 区長 小野 源次郎 氏
- 式次第:** 13:00～15:00 UBC完成作業 (参加者: 関係各社の代表及び社員、月浜区の漁師、ボランティア)
15:00～15:30 寄贈式
ハインツ日本 代表取締役 ポール モリ 挨拶/UBC鍵の贈呈
小野源次郎 月浜区長 挨拶
小野幸男 東松島市市議会議員 挨拶
- 建前

【UBCについて】

- 名称:** ユニバーサルビルディングキューブ
(Universal Building Cube 略してUBC)
- 発案者:** 山口スティーブ氏 (株式会社トラベル東北 代表取締役)
- 設計:** 株式会社シェルター
- 構造:** KES構法(スーパーイージー仕様)
- 屋根:** 波型ガルバリウム鋼板
- 床面積:** W6.075xD3.85 23.38㎡ (7.07坪)
- 外壁:** ガルバリウム鋼板(アイジーサイディング)
- 内壁:** 構造体表し(用途に応じてオーナーが設定する)
- 天井:** 同上
- 建具:** アルミサッシ(YKKAP)
- 電気設備:** 未設置(用途に応じてオーナーが設定する)
- 特徴:** 梁・柱構造が木造のため、縦・横に連結が可能で、
用地や用途によって自由自在に組み合わせることができる。
また、梁・柱の接合部分は埋め込み式鉄製金具のため、
木造建造物では珍しく、クレーン車による吊り上げ・移動
が容易にできる。



UBCのプロトタイプ 第5号



UBCの組み合わせ例(1棟～4棟)

【山口ステーブ氏について】

山形県最上郡に本拠地を置く株式会社トラベル東北の社長。東日本大震災後は民間力と被災地のニーズを直接つなぐためのボランティアツアーを7月より毎週企画運営しており、これまでに述べ220人が参加。

行政による本格的な復興計画の実現までに地域の産業やコミュニティーが消滅してしまうことを危惧しており、被災者の自発的な復興意欲と民間の支援をつなげる枠組みを作る活動を行う。

今回のUBCも“本格復興までの重要なつなぎの支援策”として、一部地域だけではなく被災地全域に大きなニーズがあると考えている。日本在住26年、日本国籍取得済み。米国カンザス州生まれの51歳。

http://www.traveltohoku.co.jp/?page_id=131

UBCプロジェクトの詳細について山口氏が代表を務める日本ソフト・パワー研究所のHPをご参照下さい。

<http://jsoftpower.org/>

【シェルターについて】

社名：株式会社 シェルター <http://www.kes.ne.jp/>

代表：代表取締役 木村 一義

事業内容：山形県山形市の建築会社。木造建築における接合金物工法(KES構法)のパイオニア。KES構法による阪神淡路大震災中心部に建てられた多数の3階建住宅や、東日本大震災で最大震度を記録した宮城県栗原市の栗駒総合支所等の大規模木造建築物のKES構造体に全く損傷がなく、卓越した耐震性能を実証(KES構法は2010年文部科学大臣表彰科学技術賞受賞)。全国の大規模木造建築を手掛け、公共・耐火建築実績も豊富で、各地の森林・建築業者等と連携した「地産地消のビジネスモデル」を構築している。東京支店(千代田区神田)があり、仙台支店を開設予定。

今回山口ステーブ氏の依頼を受けてUBCを設計し、第1号から5号までのプロトタイプの改良と現地での設置テストを経て完成にこぎつけた。

商品概要

商品名：ハインツ トマトケチャップ逆さボトル

内容量：460g

メーカー希望小売価格：260円(税抜)／273円(税込)

特徴 液だれしないノズルと逆さまに置ける外国生まれの洗練されたデザイン。トマトの旨みと甘みが生きた濃厚なトマトケチャップです。

ラベル 2011年9月より順次、被災地支援ラベルに切り替わっています。(売上の1%の寄付は2011年6月売上げより対象です)



商品ラベル(支援バージョン)



ボトル裏面のラベルには、デザインバーコード社の無償協力により左記のデザインバーコードを使わせて頂きました。

<http://www.d-barcode.com/>

→お客様からのお問い合わせ先

ハインツ日本株式会社 お客様相談室 TEL:0120-370655

→報道関係者様お問合わせ先

ハインツ日本株式会社 広報担当:池田
TEL:03-5687-7526 FAX:03-5687-1648 E-mail:mariko.ikeda@jp.hjheinz.com

(10月7日中のお問い合わせは下記へお願いします)

ハインツPR代行:リアライズ 担当 若杉 TEL:03-3434-3377 E-mail:wakasugi@real-ize.com